

2019 年度（ 2018 年度実績 ）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 4-1-3

事務事業名	放課後子どもサポート運営事業	所属部門	社会教育課 社会教育係
町長公約	基礎学力の向上	公約達成年次	
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

児童館において、放課後の学習習慣の定着につなげる。令和元年度より事業統合。学習ボランティアが少なくなっており、ボランティアの確保が必要。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕

地域学校協働活動の開始により、多くの町民に周知し、ボランティアを確保したい。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円					
		地方債	円					
		その他(使用料等)	円	59,000				
		一般財源	円	1,883,316	212,889	0	0	0
		事業費計(A)	円	1,942,316	212,889			
投入量	人件費	正職員従事人数	人	4	4			
		人工数(業務量)	人工	0.1609	0.1085			
		人件費計(B)	円	1,251,732	846,078			
		トータルコスト(A+B)	円	3,194,048	1,058,967			

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 4-2-1

事務事業名	ふるさと歴史館維持管理事業	所属部門	社会教育課 社会教育係
町長公約	社会教育施設の長寿命化	公約達成年次	
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみ of 事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕
 郷土資料を収集・保管・展示をすると共に、体験学習等の普及活動をとおして町の文化・歴史を後世に伝える事を目的に運営されている。
 まもなく開館20年を迎える事から、展示機器や施設設備に経年劣化が見られたり、展示の掲載内容が古くなっているものが見られるため、計画的に更新していく必要がある。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕
 今年度にはグラフィック改修を実施。情報ステーションに展示されている資料中の年表、図表、写真等のデータを更新する。
 2020年度以降についても、地域の資料館に求められる機能を充実させられるよう取り組んでいく。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円	193,504	202,707	202,000	202,000	202,000	202,000
		一般財源	円	18,505,568	5,448,354	5,551,000	5,551,000	5,551,000	5,551,000
		事業費計(A)	円	18,699,072	5,651,061	5,753,000	5,753,000	5,753,000	5,753,000
人件費	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
		人工数(業務量)	人工	0.1221	0.1169				
		人件費計(B)	円	949,885	911,581				
		トータルコスト(A+B)	円	19,648,957	6,562,642				

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 4-2-1

事務事業名	ふるさと歴史館運営事業	所属部門	社会教育課 社会教育係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

体験型資料館としての特色を活かし、来館者に対するものづくり体験の場を提供することで、郷土の歴史や文化に対する理解を深めてもらう事を目的としている。
 事業のマンネリ化が課題となっている。ものづくり体験については、どこでも出来るような工作ではなく、ふるさと歴史館らしさのあるメニューを用意できるよう工夫していく必要がある。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕

芽室歴史探訪会の協力を得ながら町内史跡マップを作成する。
 町の歴史・文化に興味を持ってもらえるような事業プログラムを検討・実施し、入館者の増加につなげていく。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	366,578	369,152	408,000	408,000	408,000	408,000
	一般財源	円	3,062,216	3,141,638	3,452,000	3,452,000	3,452,000	3,452,000
	事業費計(A)	円	3,428,794	3,510,790	3,860,000	3,860,000	3,860,000	3,860,000
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.0661	0.0706				
	人件費計(B)	円	514,229	550,535				
	トータルコスト(A+B)	円	3,943,023	4,061,325				

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 4-1-2

事務事業名	家庭教育学級活動支援事業	所属部門	社会教育課 社会教育係
町長公約	年代や分野を問わない潤いのある生涯学習推進		公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕
 各家庭教育学級への支援（補助金の支出と学習内容に関する助言）と、家庭教育をテーマとした講演会等を開催している。働く母親が増え、学級生の人数減少や役員のなり手不足など、家庭教育学級単体での活動が難しくなっている学級もある。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕
 親同士のつながりだけではなく、学校や地域と連携した活動が重要となっていくため、学校や地域と連携して地域全体で子育てができる環境を整備する。講演会やセミナーは、子育て世代に限らず地域の人も参加可能とし、子育て支援課や学校教育課とも連携をとりながら企画していくこととする。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	333,504	335,566	358,000	358,000	358,000	358,000
		事業費計(A)	円	333,504	335,566	358,000	358,000	358,000	358,000
投入量	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	
		人工数(業務量)	人工	0.0613	0.0788				
		人件費計(B)	円	476,887	614,479				
		トータルコスト(A+B)	円	810,391	950,045				

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 4-1-2

事務事業名	芽室町PTA連合会活動支援事業	所属部門	社会教育課 社会教育係
町長公約	年代や分野を問わない潤いのある生涯学習推進		公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕
 PTA連合会への活動費の助成
 会の活動内容は、道内・管内各種研修会への参加、視察研修の実施、研究大会・役員交流会などの開催
 今年度より、活動内容の見直しを図った。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕
 教育効果を高めるため、活動内容の見直しを行ったので、今後の活動状況を見守っていく。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	477,625	414,801	574,000	574,000	574,000	574,000
		事業費計(A)	円	477,625	414,801	574,000	574,000	574,000	574,000
投入量	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	
		人工数(業務量)	人工	0.0116	0.0177				
		人件費計(B)	円	90,243	138,024				
		トータルコスト(A+B)	円	567,868	552,825				

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 4-2-1

事務事業名	芽室文芸発刊支援事業	所属部門	社会教育課 社会教育係
町長公約	文化活動団体、サークルの支援		公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみ of 事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕
 執筆活動を行う町民に対し、発表の場を与え、本に親しむ機会の提供を支援する。
 課題として、文芸編集委員会の後継者不足と執筆者の固定化。
 令和元年度より、芸術・文化振興支援事業に統合したため廃止。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕
 新しい編集者についての打診は進んでいるが、執筆者の固定化については、広く周知を図ることとしたい。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円					
		地方債	円					
		その他(使用料等)	円					
		一般財源	円	518,400	560,333	0	0	0
		事業費計(A)	円	518,400	560,333			
投入量	人件費	正職員従事人数	人	4	4			
		人工数(業務量)	人工	0.0054	0.0250			
		人件費計(B)	円	42,010	194,949			
		トータルコスト(A+B)	円	560,410	755,282			

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 4-2-1

事務事業名	郷土芸能メモオロ太鼓保存会活動支援事業	所属部門	社会教育課 社会教育係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

町の郷土芸能であるメモオロ太鼓を保存・継承するため、開町80周年を機に結成された郷土芸能メモオロ太鼓保存会に対して、継続して支援を行う必要がある。
 会員数が減少しており、それに伴い、予算規模・会の活動の縮小化をせざるを得なくなっている。会員(打ち手)の減少や指導者の確保などの課題が継続している。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕

会の運営がスムーズに進むよう、助言を行っていく。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円					
		地方債	円					
		その他(使用料等)	円					
		一般財源	円	0	0	0	0	0
		事業費計(A)	円					
投入量	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4
		人工数(業務量)	人工	0.0011	0.0008			
		人件費計(B)	円	8,558	6,238			
		トータルコスト(A+B)	円	8,558	6,238			

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 4-1-3

事務事業名	勤労青少年ホーム維持管理事業	所属部門	社会教育課 社会教育係
町長公約	温水プール改築と総合体育館周辺施設の再整備の検討		公約達成年次 2022年
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

勤労青少年の健全な育成及び福祉の増進を目的として、勤労青少年の活動拠点及び社会教育施設としての有効活用を図るための維持管理を行う。平成18年度からMEMオロ太鼓保存会の練習場所として一部を専用で使用している。

近年は勤労青少年や青年団体の活動の場としての利用が減少しており、現在は適応指導教室ゆうゆう、郷土芸能MEMオロ太鼓保存会の活動や隣接する体育施設の補完施設としての利用が見られる。また、総務課の依頼により、和室に災害時備品を保管している

なお、旧勤労青少年福祉法(現青少年の雇用の促進等に関する法律)が改正され、勤労青少年ホームに関する規定は廃止されている。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕

総合体育館一帯の施設配置についての構想を策定する中で、勤労青少年ホームの今後の在り方を検討する。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	46,200	49,590	52,000	52,000	52,000	52,000
	一般財源	円	1,825,496	2,011,106	2,244,000	2,244,000	2,244,000	2,244,000
	事業費計(A)	円	1,871,696	2,060,696	2,296,000	2,296,000	2,296,000	2,296,000
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.0119	0.0043				
	人件費計(B)	円	92,577	33,531				
	トータルコスト(A+B)	円	1,964,273	2,094,227				

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 4-2-1

事務事業名	芸術・文化振興支援事業	所属部門	社会教育課 社会教育係
町長公約	「一流」を見て、聴いて、学ぶ		公約達成年次 2020年
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

小中高生が文化芸術性の高い公演等に直接接する機会を設けたり、文化活動に置いて上位大会等へ出場する機会を得た場合の経済的な負担の軽減を目的としている。
 今年度より「文化団体活動支援事業」と「芽室文芸発刊支援事業」を統合。芽室町文化協会やめむろ子どもと人形劇を楽しむ会への補助を行う。
 所属団体・加入会員数が減少傾向にある文化協会への活動支援を中心に、町全体の文化活動が盛んになるよう支援していく必要がある。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕

文化協会としても意欲的に取り組んでいただく必要はあるが、協会役員の相談に乗りながら、会が活発に活動していけるよう支援していく。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	386,943	1,382,229	1,746,000	1,746,000	1,746,000	1,746,000
		事業費計(A)	円	386,943	1,382,229	1,746,000	1,746,000	1,746,000	1,746,000
投入量	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	
		人工数(業務量)	人工	0.0592	0.0676				
		人件費計(B)	円	460,550	527,142				
		トータルコスト(A+B)	円	847,493	1,909,371				

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 2-2-1

事務事業名	芸術鑑賞会等開催事業	所属部門	社会教育課 社会教育係
町長公約	一流を見て、聴いて、学ぶ		公約達成年次 2020年
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

町民に対して、音楽や伝統芸能、演劇などの芸術に触れる機会を提供するために、その分野のプロ(専門家)を招いて文化芸術鑑賞会を開催する。

演目の選定については、平成27年度から町民の委員による内容検討会議を実施し、幅広い年代の町民から意見をもらうことで、町民のニーズに合った鑑賞会を実施しているが、現在のやり方では、年度をまたいでの準備がしづらいことや、チケット収入を見越した予算計画が立てられない等の課題がある。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕

- ・平成27年度から実施してきた「内容検討会議」を2019年度から「実行委員会」に変更し、委員には芸術鑑賞会の演目選定だけでなく運営にも携わってもらう。運営に携わってもらう中で、今後の実施主体の検討も行うこととする。
- ・「一流を見て・聴いて、学ぶ」機会を提供するため、2020年度から2年に1度予算を増額し、一流の演者を招聘したい。
- ・鑑賞会の周知方法やチケットの購入方法等、入場者数増加の工夫を検討する。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円	236,500	708,000	1,270,000	1,250,000	750,000	1,250,000
		一般財源	円	852,551	795,605	985,000	2,005,000	1,005,000	2,005,000
		事業費計(A)	円	1,089,051	1,503,605	2,255,000	3,255,000	1,755,000	3,255,000
人件費	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
		人工数(業務量)	人工	0.2314	0.2527				
		人件費計(B)	円	1,800,191	1,970,542				
		トータルコスト(A+B)	円	2,889,242	3,474,147				

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 4-1-2

事務事業名	公民館運営事業	所属部門	社会教育課 社会教育係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

各種公民館講座及び自主事業などについては指定管理者が行っていることから、各種事業の企画・実施にあたり指導・助言を行う。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕

指定管理者の事業提案を踏まえたうえで、公民館講座や企画展示、自主事業などの各種事業への指導・助言を行う。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円					
		地方債	円					
		その他(使用料等)	円					
		一般財源	円	0	0	0	0	0
		事業費計(A)	円					
人件費	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4
		人工数(業務量)	人工	0.0384	0.0368			
		人件費計(B)	円	298,735	286,965			
		トータルコスト(A+B)	円	298,735	286,965			

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 2-1-2

事務事業名	公民館施設維持管理事業	所属部門	社会教育課 社会教育係
町長公約	社会教育施設の長寿命化	公約達成年次	
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕
 住民の様々な生涯学習の活動や発表の場の提供のため、施設の維持管理を行う。改修工事を行っていない部分については徐々に劣化が進んでおり、計画的な修繕を検討する必要がある。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕
 施設管理にあたり、長寿命化計画を作成するなど、中長期的な視野にたち施設修繕等を行う。新庁舎建設に伴い、移転後の事務室の改修に伴う、館全体の計画的な修繕を行う。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円	2,835,798	6,933,447	5,955,000	5,955,000	5,955,000	5,955,000
		一般財源	円	38,590,876	73,944,838	42,084,000	42,084,000	46,722,000	42,084,000
		事業費計(A)	円	41,426,674	80,878,285	48,039,000	48,039,000	52,677,000	48,039,000
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4	
	人工数(業務量)	人工	0.1128	0.1488					
	人件費計(B)	円	877,535	1,160,335					
	トータルコスト(A+B)	円	42,304,209	82,038,620					

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 4-1-2

事務事業名	高齢者学級「柏樹学園」開設事業	所属部門	社会教育課 社会教育係
町長公約	高齢者の学習機会の充実		公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

65歳以上の町民を対象に、年間を通じた学習プログラムを作成し、提供し、生きがいのある豊かな人生を送ってもらおう。
 月に1～2回程度の通常の学習日には、午前は学習（聴講）、午後は実技（クラブ活動）を行う。その他、修学旅行や学園祭などの行事も行う。

課題として、徐々に参加人数が減少してきていることから、参加者の確保に努めたい。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕

バスによる足の確保、また、学園生による勧誘などを行っていく。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円	540,000	404,000	440,000	440,000	440,000	440,000
		一般財源	円	800,324	1,061,635	1,305,000	1,305,000	1,305,000	1,305,000
		事業費計(A)	円	1,340,324	1,465,635	1,745,000	1,745,000	1,745,000	1,745,000
	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
人工数(業務量)		人工	0.0834	0.0475					
人件費計(B)		円	648,816	370,403					
トータルコスト(A+B)		円	2,137,730	1,836,038					

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 4-1-2

事務事業名	社会教育委員会運営事業		所属部門	社会教育課 社会教育係
町長公約				公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業	<input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみ	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	
	<input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業	<input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

事業概要と現状
 社会教育委員が社会教育に関し教育委員会に助言するため、下記の職務を行う環境を整える。
 ①社会教育に関する諸計画を立案すること
 ②定時または臨時の会議で教育委員会の諮問に応じて意見を述べること
 ③これらのために必要な研究調査を行うこと

町民の中で「社会教育委員」の認知度が低い状況にある。社会教育委員の役割の周知など社会教育委員が活動しやすくなるような工夫が必要である。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕

実践する社会教育委員として、各社会教育事業等へのボランティアとして参加してもらい、社会教育事業への意見や提案を活発にもらえるように環境を整えたい。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	931,986	706,108	833,000	833,000	833,000	833,000
		事業費計(A)	円	931,986	706,108	833,000	833,000	833,000	833,000
投入量	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	
		人工数(業務量)	人工	0.3963	0.1417				
		人件費計(B)	円	3,083,042	1,104,970				
		トータルコスト(A+B)	円	4,015,028	1,811,078				

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 4-1-2

事務事業名	社会教育協会連絡協議会活動支援事業		所属部門	社会教育課 社会教育係	
町長公約					公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業	<input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業	<input type="checkbox"/> 法定受託事務		
	<input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業	<input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業			

〔事業の概要・現状・課題〕
 単位社会教育協会に対して活動助成金を交付する等の支援を行うほか、連絡協議会の事業として視察研修や地域づくり研修会を開催し、単位社会教育協会同士の交流や情報交換の機会を提供している。
 農村保育所の閉所にともない、単位社会教育協会と農村保育所合同で行われていた地域の運動会が実施されなくなったことに加え、地域での会員戸数の減少や少子高齢化の影響で活動規模の縮小を進めている協会が増えてきており、年間の行事が総会と環境整備のみとなってしまう協会もある。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕
 連絡協議会の事業として日帰り・一泊二日の視察研修会を交互に隔年で実施している。視察研修会については、地域の活動をより充実させるために学習・交流の機会を提供するほか、各協会では会長等役員を担当している方への慰労を兼ねてこれまで実施されてきたが、近年天候不順が続いている事もあり、視察研修(特に家を不在にすることとなる1泊2日の研修)への参加に負担を感じている協会も少なくない。
 今年度の役員会内で視察研修の実施方法について協議を行い、次年度以降の事業内容へと反映させていきたい。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	855,300	696,235	856,000	856,000	856,000	856,000
		事業費計(A)	円	855,300	696,235	856,000	856,000	856,000	856,000
人件費	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	
		人工数(業務量)	人工	0.0565	0.0740				
		人件費計(B)	円	439,545	577,048				
		トータルコスト(A+B)	円	1,294,845	1,273,283				

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 4-1-2

事務事業名	集団研修施設「かつこう」維持管理事業	所属部門	社会教育課 社会教育係
町長公約	社会教育施設の長寿命化	公約達成年次	
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕
 廃校となった美生小学校校舎を再利用し、青少年の活動拠点として整備された施設であり、本館が昭和55年建築、体育館が昭和41年建築と施設の老朽化が進んでいる。
 ボイラーが設置から39年と耐用年数を大きく経過しており、配管から頻繁に水漏れが確認されるなど劣化が進んでいる。
 地下タンクは2020年度中に腐食対策を行う必要があると消防署より指導されており、地下タンクを閉鎖し、地上タンクを設置する予定となっている。
 体育館の床面も経年劣化により状態不良になりつつある。体育館の床面が剥がれて利用者が負傷する事例が他自治体で発生していることもあり、利用停止を検討する必要がある。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕
 2019年度は美生農業研修センターの改修工事に伴い、代替施設として利用されている。
 これまで通りの機能を維持し施設を運用していくのであれば、今後高額な修繕が複数件想定される状況にある。ねんりんととの相乗効果もあることから、施設の今後の在り方を考える必要がある。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円					
		地方債	円					
		その他(使用料等)	円	578,050	541,200	565,000	565,000	565,000
		一般財源	円	6,072,755	7,146,690	5,991,000	7,748,000	5,793,000
		事業費計(A)	円	6,650,805	7,687,890	6,556,000	8,313,000	6,358,000
投入量	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4
		人工数(業務量)	人工	0.1378	0.1369			
		人件費計(B)	円	1,072,024	1,067,540			
		トータルコスト(A+B)	円	7,722,829	8,755,430			

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 4-1-3

事務事業名	少年教育活動運営事業	所属部門	社会教育課 社会教育係
町長公約	コミュニティスクールの導入	公約達成年次	2019年
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

異なる年齢や地域間の交流を通じてリーダーを育成や、親子間の信頼関係を築くなどのため以下の行事を実施している。
 少年少女国内研修事業(友好都市訪問事業)、西部十勝野外活動体験研修事業「クマゲラの村キッズキャンプ」、ジュニアリーダーコース道東派遣、フレンドリーコンサート、通学合宿「めむろ塾」、子どもわんぱくキャンプ、MEMO太鼓保存会子どもの部活動報償、寺子屋めむろ夏・冬、地域学校協働活動、奈井江町児童生徒との標語作品交流。
 事業を手伝うボランティアの不足が見受けられる。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕

事業の変更は行わないが、事業の内容は毎年見直し、改善を行う。
 ボランティアの不足については、大学、短大などの関係機関に協力を求めていく。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円	444,580	563,382	655,000	655,000	655,000	655,000
		一般財源	円	1,622,409	2,042,334	2,683,000	2,683,000	2,683,000	2,683,000
		事業費計(A)	円	2,066,989	2,605,716	3,338,000	3,338,000	3,338,000	3,338,000
投入量	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	
		人工数(業務量)	人工	0.6286	0.5953				
		人件費計(B)	円	4,890,235	4,642,121				
		トータルコスト(A+B)	円	6,957,224	7,247,837				

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 4-1-2

事務事業名	成人教育活動運営事業	所属部門	社会教育課 社会教育係
町長公約	年代や分野を問わない潤いのある生涯学習推進		公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

地域住民との出会いの場・地域コミュニティの場として開設し、継続した楽しい学びを通して地域貢献・生きがいづくり等を追及する講座を実施する。
課題として、募集をしても人が集まらないが続いている。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕

過去の修了生の協力を得ながら、内容、講座の開催の方法を見直し進めるなどしていきたい。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	9,000					
	一般財源	円	156,015	0	233,000	233,000	233,000	233,000
	事業費計(A)	円	165,015	0	233,000	233,000	233,000	233,000
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.1466	0.0425				
	人件費計(B)	円	1,140,484	331,413				
	トータルコスト(A+B)	円	1,305,499	331,413				

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 4-1-3

事務事業名	成人式典開催事業	所属部門	社会教育課 社会教育係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみ <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		

〔事業の概要・現状・課題〕
 成人を対象とする式典の実施、出席者全員での記念写真の撮影、中学校時代の恩師らと交えた交流会の開催している。
 また、昨年度から芽室町の出来事のDVDを放映している。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕
 芽室町に愛着を持ってもらえるような内容の検討。
 成人年齢引き下げ時(20歳→18歳)の対応
 →3年分一緒に行うことは、交流会でのクラス会的な雰囲気良さがなくなる。
 (移行する年に、学年ごとに3回行うしか、解決方法は無し)
 →高校3年生の1月に開催することになり、受験シーズンにあたる。
 (夏休み期間に開催、もしくは祝福の通知のみで終わらせる)

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	202,577	188,986	207,000	207,000	207,000	207,000
	事業費計(A)	円	202,577	188,986	207,000	207,000	207,000	207,000
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.0524	0.0560				
	人件費計(B)	円	407,649	436,685				
	トータルコスト(A+B)	円	610,226	625,671				

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号

事務事業名	生涯学習推進事業	所属部門	社会教育課 社会教育係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみ事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

知識や経験のあるものを生涯学習推進アドバイザーに委嘱し、社会教育の各分野において直接指導・助言等を行う。
 主に、高齢者学級「めむろ柏樹学園」の運営や、青少年健全育成のための活動、放課後児童安全確保のほか、成人教育事業等の支援などを担う。
 芽室町総合情報誌「すまいる」に町の教育情報を掲載し、教育・スポーツ・公民館・図書館に係る情報を発信する。

再任用等で知識や経験のある方を雇用するのが難しくなっている。
 活字離れが進む一方で、紙媒体を好む世代もいるので、幅広い世代に情報発信していくためには工夫が必要である。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕

アドバイザーについては、良い人材を集めるための工夫を考える必要がある。
 力を入れて発信すべきところと、削減できるところを見極め、限られた予算の中でメリハリをつけた誌面構成にする。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円			950,000			
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円			1,208,000			
		一般財源	円			10,459,000	0	0	0
		事業費計(A)	円			12,617,000			
投入量	人件費	正職員従事人数	人						
		人工数(業務量)	人工						
		人件費計(B)	円						
		トータルコスト(A+B)	円						

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 4-1-3

事務事業名	青少年健全育成協議会支援事業	所属部門	社会教育課 社会教育係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみ of 事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕
 町民集会の開催、PTA連合会との合同研究大会の開催、街頭巡視活動、広報誌の発行、「子ども110番の家」の依頼・旗の設置、3つの心運動の推奨に係る取組
 課題として、会の構成団体の減少などがある。また、他の団体との活動内容の類似するものがある。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕
 「子ども110番の家」の依頼・旗の設置については、地域安全係と業務について話を行っていききたい。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円					
		地方債	円					
		その他(使用料等)	円					
		一般財源	円	585,000	610,000	600,000	600,000	600,000
		事業費計(A)	円	585,000	610,000	600,000	600,000	600,000
投入量	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4
		人工数(業務量)	人工	0.0115	0.0153			
		人件費計(B)	円	89,465	119,309			
		トータルコスト(A+B)	円	674,465	729,309			

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 4-1-3

事務事業名	地域子ども会育成連絡協議会支援事業	所属部門	社会教育課 社会教育係
町長公約	町内会加入者の維持、増加		公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

事業の概要
 ◎地域子ども会育成連絡協議会への補助金の支出
 ◎地域子ども会育成連絡協議会の事務局業務
 ・単位子ども会への活動助成金の交付
 ・わくわく体験塾の開催
 ・交歓レクリエーション大会の開催
 ・西部十勝子ども会交流会への参加

現状・課題
 ・子ども会加入者数の減少や役員のなり手不足により、単位会の活動を休止するところも年々増えてきている。
 ・単位子ども会単独では行事ができない子ども会も増えている。
 ・地域で子どもを育てると意識・機運が低下している。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕

・市街地町内会連合会や地域担当職員に協力を仰ぎながら、(仮称)芽子連まつりを開催する
 ・ニーズに合った事業内容の検討などにより事業への参加者数及び連絡協議会への加入を促す。
 ・会の規模も少しずつ縮小してきていることから、取捨選択をしながら事業企画・事業協力を行うことで事業の見直しを検討する。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	300,000	372,487	444,000	444,000	444,000	444,000
		事業費計(A)	円	300,000	372,487	444,000	444,000	444,000	444,000
投入量	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	
		人工数(業務量)	人工	0.1909	0.1773				
		人件費計(B)	円	1,485,119	1,379,317				
		トータルコスト(A+B)	円	1,785,119	1,751,804				

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 4-1-2

事務事業名	地域指導者人材バンク派遣事業	所属部門	社会教育課 社会教育係
町長公約	「芽室町地域指導者登録制度」の再周知と指導環境の検討		公約達成年次 2020年
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

人づくり・まちづくりの推進のため、職業や趣味、生活などを通して身につけた知識や技術を教える指導者を発掘し、町民向け講座や講演会、学習会などでの講師・指導者として、派遣要請のあった団体に対して紹介する。人材バンク登録者が活用されていないことから活用について考える必要がある。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕

現状では、登録者の活躍の場は社会教育事業でのボランティアがほとんどであり、現状に合わせた形で、制度内容の整理をすることも検討する。
また、地域学校協働活動に活かすため、町民活動支援センター登録団体との連携を図る。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円					
		地方債	円					
		その他(使用料等)	円					
		一般財源	円	0	0	0	0	0
		事業費計(A)	円					
投入量	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4
		人工数(業務量)	人工	0.0078	0.0022			
		人件費計(B)	円	60,681	17,155			
		トータルコスト(A+B)	円	60,681	17,155			

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 4-2-3

事務事業名	中学生国際交流事業	所属部門	社会教育課 社会教育係
町長公約	国際、地域間交流の推進		公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみ <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕
 アメリカ・トレーシー市との交流のため、6月にトレーシー市からの訪問団受入および3月に本町の中学生10人をトレーシー市へ派遣している。
 交流事業は問題無く進んでいるが、自己負担金額が80千円程度ということも一因なのか、子どもたちの応募数伸びず横ばい状況である。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕
 引き続き相互の交流を実施する。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	780,540	779,640	801,000	801,000	801,000	801,000
	一般財源	円	3,430,744	3,641,037	3,829,000	3,829,000	3,829,000	3,829,000
	事業費計(A)	円	4,211,284	4,420,677	4,630,000	4,630,000	4,630,000	4,630,000
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.3877	0.3316				
	人件費計(B)	円	3,016,137	2,585,801				
	トータルコスト(A+B)	円	7,227,421	7,006,478				

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 4-2-1

事務事業名	文化財保護管理事務	所属部門	社会教育課 社会教育係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみ of 事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

文化財保護法に基づき、土木工事等を実施する際の埋蔵文化財保護のための事前協議に対する調査・回答を行う。
必要に応じて、工事の立会いも行う。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕

埋蔵文化財保護のための事前協議や事前相談に対しては、専門的な見地からの対応が求められることから、学芸員(考古学)である職員の対応を含めた事務処理マニュアルを作成する。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円					
		地方債	円					
		その他(使用料等)	円					
		一般財源	円	0	0	0	0	0
		事業費計(A)	円					
投入量	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4
		人工数(業務量)	人工	0.0164	0.0326			
		人件費計(B)	円	127,585	254,213			
		トータルコスト(A+B)	円	127,585	254,213			

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 4-2-1

事務事業名	文化財保護審議会開催事業	所属部門	社会教育課 社会教育係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみ of 事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

文化財の保存及び活用のため、文化財保護審議会を開催する。
 芽室町には芽室公園のカシワのみ対象となり、ここ数年はそれ以外に審議するものが無い。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕

議題について、ふるさと歴史館ねんりんについても、今後論議してもらうなどして、会議の活発化を図る。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	14,976	18,350	19,000	19,000	19,000	19,000
	事業費計(A)	円	14,976	18,350	19,000	19,000	19,000	19,000
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.0307	0.0217				
	人件費計(B)	円	238,833	169,216				
	トータルコスト(A+B)	円	253,809	187,566				

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 4-2-1

事務事業名	文化賞等受賞式典開催事業	所属部門	社会教育課 社会教育係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

文化活動において優秀な成績・功績をおさめた町民の個人及び団体に対し年1回春に授賞式典を開催。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕

平成28年度に規則改正を行っている。今後も同様に進めていく。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	115,736	158,251	269,000	269,000	269,000	269,000
		事業費計(A)	円	115,736	158,251	269,000	269,000	269,000	269,000
投入量	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	
		人工数(業務量)	人工	0.0586	0.0960				
		人件費計(B)	円	455,883	748,603				
		トータルコスト(A+B)	円	571,619	906,854				

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 4-2-1

事務事業名	文化団体活動支援事業	所属部門	社会教育課 社会教育係
町長公約	文化活動団体、サークル活動の支援		公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみ of 事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕
 十勝管内の文化団体と交流・情報交換、町の文化振興のために活動する文化協会を支援し、文化活動を推進する。
 課題として文化協会に入会しているメリットが無いことから、会員数が減少している。
 令和元年度より芸術・文化振興支援事業の統合のため廃止。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕
 会の運営などについて、適切に助言をしていきたい。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円					
		地方債	円					
		その他(使用料等)	円					
		一般財源	円	337,831	222,000	0	0	0
		事業費計(A)	円	337,831	222,000			
投入量	人件費	正職員従事人数	人	4	4			
		人工数(業務量)	人工	0.0756	0.0230			
		人件費計(B)	円	588,135	179,353			
		トータルコスト(A+B)	円	925,966	401,353			